

報告事項①

平成 25 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：平成 25 年 5 月 24 日
- ・ 場所：東京大学 本郷キャンパス武田先端知ビル 武田ホール

② 理事会の開催

- ・ 平成 25 年 4 月 26 日、8 月 28 日、11 月 29 日、平成 26 年 3 月 19 日

③ 執行部会の運営事務

- ・ 平成 25 年 4 月 18 日、5 月 30 日、7 月 26 日、9 月 21 日、11 月 19 日、12 月 21 日、平成 26 年 1 月 21 日、2 月 26 日

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 役員選挙推薦委員会：平成 26 年 1 月 15 日
- ・ 役員選挙管理委員会：（第 1 回）平成 26 年 2 月 7 日、（第 2 回）平成 26 年 4 月 9 日
- ・ 選挙公告：2 月 7 日、投票締め切り 3 月 25 日、開票 4 月 9 日

⑤ 地すべり関係 3 省庁との意見交換会の運営

- ・ 日時：平成 25 年 7 月 10 日
- ・ 場所：（一社）斜面防災対策技術協会会議室（東京都港区）
- ・ 報告記事作成（日本地すべり学会誌 Vol. 50, No. 5）

⑥ 学会創立 50 周年記念行事の実施

- ・ 記念年表の作成、展示：平成 25 年 4 月～8 月。展示：8 月 28 日～30 日
- ・ 記念パンフレットの作成、配布：平成 25 年 4 月～8 月。

⑦ 会員数対策検討WGの設置準備：平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 規則及び細則の改訂（平成 25 年 8 月 28 日理事会：規則、代議員選挙細則、会計細則、編集出版部運営細則、出版細則。平成 26 年 3 月 19 日理事会：表彰細則）

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成

(4) 広報

- ・ HP 内容の更新及び内容の検討
- ・ 会員管理システムの維持と情報発信の促進

(5) 部会

- ・平成 25 年 8 月 28 日
- ・会員数対策に関するメール審議（平成 26 年 2 月）

2. 事業計画部

(1) 平成 25 年度総会及びシンポジウムの開催

- ・日 程：平成 25 年 5 月 24 日
- ・会 場：東京大学 本郷キャンパス武田先端知ビル 武田ホール
- ・テーマ：地すべり災害への対応－技術の変遷と課題－
- ・意見交換会：武田ホール
- ・参加人数：115 名

(2) 第 52 回研究発表会及び現地見学会（島根）開催

① 県民講演会

- ・日 程：平成 25 年 8 月 28 日
- ・会 場：島根県民会館
- ・参加人数：180 名

② 特別講演・研究発表会・意見交換会

- ・日 程：平成 25 年 8 月 29 日～8 月 30 日
- ・会 場：島根県民会館、ホテル一畑
- ・参加人数：419 名

③ 現地見学会

- ・日 程：平成 25 年 8 月 31 日
（隠岐の島地すべりコースのみ 8 月 31 日～9 月 1 日）
- ・見学コース：出雲地域地すべりコース、石見銀山落石コース、隠岐の島地すべりコース
- ・参加人数：79 名

(3) 2013 年最近の地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・日 程：平成 25 年 11 月 29 日
- ・会 場：日本青年館ホテル
- ・研究調査部と共催

(4) 部会の開催

- ・日 程：平成 25 年 4 月 24 日、6 月 17 日、8 月 30 日、10 月 18 日、12 月 20 日、平成 26 年 2 月 21 日
- ・平成 25 年度シンポジウムの準備と総括、平成 26 年度シンポジウムの準備
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
- ・第 52 回研究発表会の準備と総括、第 53 回研究発表会の準備
日程、会場、予算、投稿方法、セッション、企画、講演集 CD 化等の検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

①編集委員会の開催 25 年 4 月～26 年 3 月まで 12 回開催(月一回)

②日本地すべり学会誌 Vol. 50. 3～51. 2 計 6 号

- ・ 特集号「近年の地すべり計測データの取得から活用まで」
- ・ 特集号「斜面モニタリングによる危険度評価（崩壊予測）の取り組みと課題」
- ・ シンポジウム連携特集号「地すべり災害への対応—技術の変遷と課題—」
- ・ シリーズ：「空から見る日本の地すべり地形」の継続
- ・ シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード 101」の開始

③技術報告賞および査読者賞の新設提案および両賞候補者の推薦

(2) 出版委員会発足

平成 26 年 3 月 19 日の理事会で、委員 4 名が選任され、学会出版物のビジネスプランを審議する常設委員会として発足した。

4. 研究調査部

(1) 研究委員会

- ・ 平成 25 年度の助成金対象研究委員会は以下の 2 委員会である。研究委員会 B は平成 25 年度に新たに募集した研究委員会である。

A 大規模地すべりの機構解明研究委員会

代表：吉松弘行・・・3 年目

B 日本地すべり学会における地理空間情報等の共有推進にむけた検討

代表：内山庄一郎・・・1 年目

(2) 受託業務

①類型化に基づく地震による斜面変動発生危険箇所評価手法の開発

- ・ 発注者：国土交通省国土技術政策総合研究所
- ・ 研究期間：平成 25 年 8 月 13 日～平成 26 年 2 月 28 日
- ・ 委託額：14,312,074 円
- ・ 研究代表者：檜垣大助
- ・ 受託研究の概要

事例の要因解析や地盤解析等により、地震による大規模地すべり等の斜面変動の予測手法および地震により脆弱化した斜面変動の予測手法、そしてその危険度を評価する技術を開発

(3) 緊急災害調査及び報告会

平成 25 年度に実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・ 日時：平成 25 年 11 月 29 日 15 時 00 分～17 時 00 分
- ・ 場所：日本青年館ホテル 会議室 302 号室 (3 階)
- ・ 報告内容：2013 年山口・島根豪雨に伴って発生した地すべり災害の事例（桑田庸平）、平成 25 年 7 月 山口・島根豪雨災害について（山本定雄）、浜松市春野町で発生した大規模崩落とその要因（土屋智）、2013 年台風 26 号による伊豆大島災害の概況（速報）（櫻井正明）

5. 国際部

- (1) 新部員および部内役職等の決定
- (2) 第1回会合開催（H25. 8. 30、島根県民会館） 出席：14名
- (3) ICL への参画と各種協力
 - ① ICL 総会出席対応（H25. 11. 19-22、若井部長）
 - ② WCoE、IPL 関連業務への対応
 - ③ 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
- (4) 国際集会の運営等の支援（参加呼びかけ）
 - ・2014年6月2-4日に中国（北京）で開催される WLF3 会議
 - ・2014年9月15-19日にイタリア（トリノ）で開催される IAEG 会議
（Session：Earthquake-induced Landslides（Prof. Marui）等）
- (5) 英文 HP 更新検討（H26. 1～継続中）
- (6) 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝方法検討
- (7) 甘肅省地すべり土石流研究会との研究交流協定の更新（5月、会長ら訪中）

6. 北海道支部

- (1) 総会、特別講演、研究発表会
 - ①日 時：平成25年4月26日
 - ②参加者：155名（会員39、一般参加116）
 - ③場 所：札幌エルプラザ
 - ④特別講演：研究発表会：特別講演（2件）、研究発表（10件）
 - ・『採掘に伴う残壁の変形挙動の解析-露天掘り石灰石鉱山の事例-』
北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門 児玉淳一准教授
 - ・『2011年東北地方太平洋沖地震で発生した造成地盤地すべり』
京都大学防災研究所斜面災害研究センター 釜井俊孝センター長
- (2) 第1回運営委員会
 - ①日 時：平成25年7月2日
 - ②参加者：23名
 - ③場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5F 会議室（ラベンダー）
 - ④会議内容：平成25年度 運営委員会構成、事業計画、予算（案）、会員状況
- (3) 第2回運営委員会
 - ①日 時：平成26年2月7日
 - ②参加者：22名

④ 場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5F 会議室（マーガレット）

⑤ 議内容：平成 25 年度 事業報告・決算見込報告
平成 26 年度 事業計画・予算(案)報告

(4) 巡検部活動

現地見学会「日高地方の地質と地すべり」

①日 時：平成 25 年 9 月 6 日

②参加者：31 名

③見学地：日高山脈博物館、ウェンザル林道、平取町岩知志地すべり

④案内者：日高町教育委員会学芸員 東豊士氏、アースサイエンス(株)加藤孝幸氏、
(株)ドーコン 鈴木俊司 氏

⑤共 催：(一社) 日本応用地質学会北海道支部、北海道応用地質研究会、北海道地すべり
学会

⑥協 賛：(一社) 斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会、北海道地すべり
防止工事士会

(5) 広報部活動

通年、ホームページ運営、各種広報活動

(6) 技術普及部活動

技術講習会

・日 時：平成 26 年 2 月 24 日

・参加者：40 名

・場 所：自治労会館 4F 小会議室

・講習内容：「航空レーザ測量データ解析による地すべり活動度の推定」

講師：北海道大学農学研究院 笠井 美青 准教授

：「レーザ計測データ等の防災への応用－斜面のみえる化さらには定量評価」

講師：アジア航測株式会社 小野田 敏 氏

(7) 企画委員会活動

TV 取材対応 融雪期の斜面災害が多発していることから取材申し込みあり。

①日 時：平成 25 年 4 月 18 日 (NHK)、平成 25 年 5 月 8 日 (STV)

②対応状況：地すべり模型による地すべり発生機構の解説

北海道水産林務部林務局治山課主催の山地防災キャンペーンに地すべり模型を展示・実演

①日 時：平成 25 年 6 月 20 日、20 日

②対 象：一般市民

③場 所：北海道庁 1 階ロビー

第 32 回日本自然災害学会学術講演会におけるオープンフォーラムに地すべり模型を展示・実演

①日 時：平成 25 年 9 月 23 日

②対 象：講演会参加者

③場 所：北見工業大学

山地防災教育 野外巡検

- ①日 時：平成 25 年 10 月 15 日
- ②対 象：北海道岩見沢農業高校森林科学科 3 年生 37 名
- ③場 所：当別町、月形町（道民の森神居尻地区、国道 451 号、当別川流域）
- ④授業内容：野外巡検
 - ・ 治山施設を観察し、重要性や設計の考え方を学習
 - ・ 地すべり地形変状等を観察し地すべり発生メカニズムを学習
 - ・ 地すべり観測機器と地すべり対策工を見学し実務面を学習
 - ・ 当別川流域の露頭観察 地形地質の成り立ちを学習

(8)技術委員会活動

第 1 回技術委員会

- ①日 時：平成 25 年 6 月 14 日
- ②参加者：25 名
- ③場 所：札幌市 松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室
- ④内 容：話題提供
 - ・ グラウンドアンカー関連技術
 - ・ 基岩地質に基づく地すべり分類の新たな提案
 - ・ 討議
 - ・ 技術委員会活動について

(9)研究委員会活動

第 1 回研究委員会

- ①日 時：平成 25 年 12 月 23 日
- ②参加者：39 名
- ③場 所：コラボほっかいどう 大会議室
- ④内 容：話題提供『2013 年に発生した地すべり災害』
 - ・ 層雲峡四の岩付近の岩盤崩壊
 - ・ 道道岩見沢三笠線の融雪期の道路災害
 - ・ 国道 230 号線中山峠の斜面災害
 - ・ 報告・討議
 - ・ 時系列判読による地すべり斜面活動性評価の検証
 - ・ 空中写真判読による地すべり活動性評価のポイント解説

第 2 回研究委員会

- ①日 時：平成 26 年 3 月 13 日
- ②参加者：17 名
- ③場 所：北海道立総合研究機構プラザ セミナー室 3
- ④内 容：話題提供『国土保全学研究室（寄付分野）について』
 - ・ 報告・討議
 - ・ 空中写真判読における地すべり活動度評価

7. 東北支部

(1) 支部総会

- ・開催日：平成 25 年 4 月 25 日
- ・場 所：仙台市戦災復興記念館
- ・参加者：110 名

(2) 支部シンポジウム

- ・主 催：東北支部
- ・開催日：平成 25 年 4 月 25 日
- ・場 所：仙台市戦災復興記念館
- ・テーマ：「空間把握・解析技術の進展と斜面防災への応用」
- ・参加者：110 名

(3) 秋田・岩手豪雨災害緊急調査団派遣

- ・調査団：砂防学会と合同調査（東北支部より 5 名参加）
- ・月 日：平成 25 年 9 月 1 日
- ・場 所：秋田県仙北市田沢供養仏地区

(4) 支部拡大幹事会

- ・開催日：平成 25 年 9 月 24 日
- ・場 所：東北工業大学一番町ロビー
- ・出席者：13 名

(5) 支部地すべり現地検討会

- ・開催日：平成 25 年 10 月 10 日～11 日
- ・場 所：秋田県・砥沢地すべり
- ・出席者：44 名

(6) 支部拡大幹事会

- ・開催日：平成 26 年 2 月 8 日
- ・場 所：東北工業大学一番町ロビー
- ・出席者：12 名

(7) 支部拡大運営委員会

- ・開催日：平成 26 年 3 月 18 日
- ・場 所：仙台市内・(株)復建技術コンサルタント会議室
- ・出席者：17 名

(8) 出前研修講師派遣

- ・件 数：4 件（宮城県砂防ボランティア、山形県砂防ボランティア等）

8. 新潟支部

(1)平成 25 年度支部総会

- ・開催日：平成 25 年 5 月 17 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）

(2)第 41 回地すべりシンポジウム

- ・主 催：(公社)地盤工学会 北陸支部との共催
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成 25 年 5 月 17 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）
- ・テーマ：地すべり災害への新たな取り組み
- ・参加者：104 名

(3)第 41 回 地すべり現地検討会

- ・主 催：(公社)地盤工学会 北陸支部との共催
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・協 賛：新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会、新潟県治水砂防協会
- ・開催日：平成 25 年 11 月 8 日
- ・場 所：清水日影地すべり（十日町市）
- ・テーマ：地すべり災害と景観に配慮した棚田の復旧
- ・参加者：39 名

(4)新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版の出版

平成 25 年 5 月 17 日、2013 年版を出版（平成 24 年に発生した地すべり災害記録を追加）

(5)地すべりハンドブック（翻訳版）の出版

リン・ハイランド、ピーター・ボブロウスキーの著作を、野崎保翻訳、地すべり学会新潟支部監訳として、平成 25 年 8 月 7 日出版

(6)新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(7)新潟県地すべり対策研究会への参加

平成 25 年 7 月 19 日、妙高市内 2 個所で集水井内点検用カメラのデモを見学

平成 25 年 8 月 2 日、長岡市寺泊山田地区の災害現場視察

平成 25 年 12 月 9 日、柏崎市西山町長嶺地区の災害現場視察

平成 26 年 1 月 30 日、幹事会

平成 26 年 2 月 12 日、総会

(8) 会議記録(執行部会)

- 第1回 平成25年7月6日 9名出席
- 第2回 平成25年9月28日 9名出席
- 第3回 平成26年1月8日 10名出席

9. 関東支部

(1) 総会：平成25年5月10日

(東京大学武田先端知ビル 武田ホール)

(2) シンポジウム：平成25年5月10日

(東京大学武田先端知ビル 武田ホール)

テーマ：斜面災害とモデル実験

- ・大型降雨実験施設における斜面崩壊実験
酒井直樹 ((独)防災科学技術研究所)
- ・人工降雨による現地斜面崩壊実験—茨城県加波山における試み—
落合博貴 ((独)森林総合研究所)
- ・アンカー緊張力計測に基づく地すべりの安定評価手法に関するモデル実験
阿部大志 ((独)土木研究所)

(3) 意見交換会：平成25年5月10日

(東京大学 山上会館)

(4) 現地検討会

① 第1回現地検討会：平成25年8月20日 参加者22名

茨城県北ジオパークと津波被害跡を見る

- ・五浦海岸の地質、津波被害と六角堂の復興
天野一男 (茨城大学理学部教授)
齋藤勝男 (茨城大学学術企画部社会連携課長)
- ・花貫渓谷・日鉱記念館・かみね公園ジオサイトの地質
田切美智雄 (日立市郷土博物館特別専門員)

② 第2回現地検討会：平成25年11月5日 参加者18名

- ・奈良平地区(群馬県みなかみ町)の大規模崩壊
群馬県環境森林部森林保全課・利根沼田環境森林事務所
国土防災技術株式会社前橋支店

* 学会活動報告：日本地すべり学会誌 Vol. 51, No. 2、 pp. 41-42.

(5) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

- ・第1回(第6回幹事会合同) 平成26年4月16日 港区生涯学習センター 出席者20名

② 幹事会

- ・第1回 平成25年5月31日 港区生涯学習センター 出席者12名
- ・第2回 平成25年7月5日 日本工営会議室 出席者14名

- ・第3回 平成25年9月27日 港区生涯学習センター 出席者18名
- ・臨時 平成25年11月11日 日本工営会議室 出席者9名
- ・第4回 平成25年12月9日 日本工営会議室 出席者16名
- ・第5回 平成26年4月4日 港区生涯学習センター 出席者11名

(6) 災害調査

台風26号による伊豆大島災害（東京都大島町）

- ①第1回災害調査（砂防学会と合同調査）：平成25年11月2日 9名
- ②土木学会外4学会合同調査団への派遣：平成25年11月9日～11月10日 2名
- ③土砂災害緊急対応委員会：平成25年11月11日 日本工営会議室
- ④学会・災害調査報告会：平成25年11月29日
*ニュース：日本地すべり学会誌 Vol. 51, No. 1, pp. 25-28.
- ⑤第2回災害調査：平成25年11月30日～12月1日 7名
- ⑥土木学会外4学会合同調査団報告会：平成26年1月23日

(7) 広報活動等

- ・関東支部 Web ページ更新

(8) 第53回研究発表会及び現地検討会に関する準備

- ・準備委員会（幹事会と合同で開催）
- ・第1回実行委員会 平成25年12月10日 研究交流センター（つくば市）

(9) 斜面モニタリング研究会

- ・委員募集 平成25年12月 参加者25名
- ・第1回委員会 平成25年12月19日 日本工営会議室 出席者11名

10. 中部支部

(1) 運営委員会；出席者 13名

- ・平成25年5月15日 サンパルテ山王

(2) 支部総会

- ・平成25年5月15日 サンパルテ山王

(3) 特別講演

- ・平成25年5月15日 サンパルテ山王
- ・場所：サンパルテ山王（長野市） 参加者：116名
- ・演題1「活断層と変動地形学－変動地形から何がわかるのか」 信州大学准教授 廣内大助氏
- ・演題2「深層崩壊と深層崩壊評価マップ」 天竜川上流河川事務所所長 中谷洋明氏
- ・演題3「四川地震にともなう大規模土砂移動とその後」 静岡大学教授 土屋 智氏

(4) 諏訪桑原砂防施設現地見学会；講師派遣

- ・平成25年6月12日

- ・諏訪四賀小学校：生徒（6年生）81名、教師4名 合計85名

(5) 現地見学会（富山県氷見市）

- ・平成25年10月10日
- ・見学会；国見、胡桃、谷屋地すべり地
- ・検討会；富山県の砂防事業について、富山県椎葉砂防課長
各地すべり地の調査報告、日本工営（株）、東京コンサルタンツ(株)
- ・参加者39名

(6) 中部支部シンポジウム（松本市中央公民館Mウイング）

- ・平成25年11月7日
- ・テーマ：大規模土砂災害時における危機管理に求められるもの
- ・基調講演1：「大規模土砂災害危機管理の現状と課題」
（一財）砂防フロンティア整備推進機構理事長 森 俊勇氏
- ・基調講演2：「伊那市における土砂災害と地域防災計画」伊那市役所危機管理課 小牧学氏
- ・話題提供
長野県における土砂災害のとりくみ：長野県砂防課細川容宏氏
松本・安曇地方における土砂災害対策：国土交通省松本砂防事務所 柴田積氏
地すべり学会中部支部での防災啓発のとりくみ：島田支部幹事
- ・総合討論： 司会 中部支部飯沼幹事
- ・参加者 122名

(7) 防災遺産シンポジウム2013 「芦澤石積堰堤と安全な地域づくり」；後援

- ・平成25年11月16日
- ・場所：長野県麻績村地域交流センター

(8) 2月豪雪による地すべり防止区域への影響調査：調査員派遣

- ・平成26年3月27日

(9) 中部支部ニュース発行 平成26年3月31日

(10) 幹事会

- ・平成25年4月24日；Toigo 学習室、出席者：10名
- ・平成25年10月3日；長野県土木センター、出席者：10名
- ・平成26年2月12日；長野県土木センター、出席者：9名

11. 関西支部

(1) 第1回運営委員会

- ① 日時：平成25年4月5日 13:30～17:00
- ② 場所：京都大学防災研究所
- ③ 出席者：17名

議 事：H25～H26年度支部長と支部監査委員の互選

各担当委員の選出

報告:H24年度行事、研究会、会誌、後期決算報告

議題:H25年度予算計画、事業計画

H25年度全国大会について

(2)春のシンポジウム「安価なセンサ時代」開催

話題提供:内村太郎氏・納谷宏氏・伊藤和也氏・水野敏実氏

① 日時:平成25年4月15日 10:00~17:00

② 場所:大阪建設交流会館

③ 主催(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 後援:(公社)砂防学会

(公社)地盤工学会関西支部

⑤ 参加者:49名

⑥ 話題提供・特別講演

・ 斜面土層内に埋設する地すべり警報センサ 東京大学工学研究科 内村太郎

・ 拡散レーザ変位計の開発と地すべり地への応用

明治コンサルタント株式会社 納谷 宏

・ 切土掘削工事中の斜面崩壊による労働災害防止のための計測

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 伊藤 和也

・ 地上設置型開口レーダーによる斜面変動監視 応用地質株式会社 水野 敏実

(3)関西支部 総会

日時:平成25年4月15日 11:30~12:00

場所:大阪建設交流会館

議題:平成24年度活動報告

平成24年度決算報告

平成25年度予算・活動計画

(4)平成25年度現地見学会及び現地討論会「深層崩壊と河道閉塞」

①日時:平成25年10月14日~15日

②場所:宇井・赤谷地区の深層崩壊と河道閉塞

③主催:(公社)日本地すべり学会関西支部

④後援:(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部

⑤参加者:39名、現地見学会35名

⑥話題提供・特別講演

・ 台風12号で発生した深層崩壊・河道閉塞および対策(桜井亘/紀伊山地砂防事務所・所長)

・ 台風12号で発生した深層崩壊・河道閉塞の調査(徳永博/(株)日本工営)

・ 紀伊山地および西南日本外帯の深層崩壊(千木良雅弘/京都大学防災研究所・教授)

・ 平成23年台風12号の災害を受けて(仮題)(特別講演)(更谷慈禧/十津川村・村長)

⑦司会:松浦 純生(京都大学防災研究所)

(5) 第2回運営委員会

- ・日時：平成25年11月1日
- ・場所：京都大学防災研究所 E114N
- ・出席者：10名 委任状11名

(6) 「らんどすらいど」会誌の発行・発送

①日時：平成26年2月3日

②寄稿者

- ・「石見銀山遺跡の落石対策」小村 徹（株式会社コスモ建設コンサルタント）
- ・「大規模地すべり発生箇所の安全管理体制とすべり機構」
藤井俊逸、永田和之、新宮敦弘、藤井勇、齊藤龍太（株式会社藤井基礎設計事務所）
- ・「地震時盛土斜面の不安定性評価にまつわる諸問題」
ー安定解析理論；破壊斜面の逆算；鉛直地震動の影響などー
蔣 景彩（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部）

12. 九州支部

(1) 支部技術検討会

- ・開催日：平成25年4月5日 13：30～17：30
- ・会場：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部、琉球大学農学部土地環境保全学研究室
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部
- ・参加者：76名
- ・講演：中村真也（琉球大学准教授）、熊澤至朗（沖縄総合事務局開発建設部河川課長）、与那嶺哲夫（沖縄県土木建設部海岸防災課災害砂防班）ほか5件
詳細は支部ウェブサイト参照
http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~s-naka/JLS_kyushu-branch_index.html

(2) 支部幹事会

- ・開催日：平成25年6月13日 10：00～11：00
- ・会場：日向市（ホテルベルフォート日向）
- ・参加者：37名

(3) 支部総会

- ・開催日：平成25年6月13日 11：00～11：30
- ・会場：日向市（ホテルベルフォート日向）
- ・参加者：45名

(4) 支部学術講演会

- ・開催日：平成25年6月13日 13：30～17：40
- ・会場：日向市（ホテルベルフォート日向）
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会

- ・参加者：65名
- ・講演：中村真也（琉球大学准教授）、玉田文吾（西日本工業大学名誉教授）、落合文登（（株）西部技建コンサルタント）ほか9件
詳細は支部ウェブサイト参照
- ・展示セッション：5社

(5) 支部現場見学会

- ・開催日：平成25年6月14日 8:00～16:30
- ・見学地：「耳川沿いで発生した地すべり、深層崩壊地」
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・参加者：25名

(6) 支部技術検討会実行打ち合わせ

- ・平成25年11月29日

(7) 支部ウェブサイト更新

- ・平成26年1月14日：H25支部技術検討会のお知らせ

(8) 支部技術検討会

- ・開催日：平成26年1月30日 13:30～16:40
- ・会場：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部、琉球大学農学部土地環境保全学研究室
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部
- ・参加者：75名
- ・講演：鈴木啓介（沖縄総合事務局開発建設部河川課長）ほか5件
詳細は支部ウェブサイト参照